

## 京都サマープログラム2017

チューラーロンコーン大学文学部  
ジーラヌット・ノークチン  
July 31 - August 10, 2017

このプログラムのために京都大学に来る以前、私は日本語にあまり興味がありませんでした。しかし、このプログラムに参加することができ、日本文化の理解を深める機会が得られて、日本文化の美しさを感じることができました。さらに、自分の大学の日本語学科で勉強を続ける意欲を与えてもらいました。日本文化の美しさをもっと理解できるようになるため、日本語学習をがんばりたいと思うようになりました。このプログラムの期間中に触れた美しい日本文化と素晴らしい人たちから、将来、日本に留学するモチベーションを得ました。京都大学は留学生に優しくかつ便利な環境を提供していると思います。今回のサマープログラムを運営してくださった皆さんにとっても感謝しています。

このプログラムで、日本語Ⅱのクラスに参加することになり、その授業内容からいろいろ勉強になりました。授業で、「サザエさん」というアニメやサイレント映画を題材として日本語を勉強しました。その映画とアニメは珍しく、面白いと感じました。なぜかというと、私にとってすべてが新しいものだったからです。日本語が面白いと感じると同時に日本語の聴解も上達したと思います。また、新しい言葉や知らなかった文法も授業で習いました。

学外の見学の日には、別の国からの留学生と京大生と共に大阪へ行きました。大阪城に行き、はじめて色々な日本の電車を使い、いい経験になりました。また、書道の授業に参加し、日本の芸術について理解でき、感動しました。日本の書道の美しさは綺麗に完璧に書くことではなく、芸術的な不完全にあるのだと思いました。

このプログラムのおかげで、日本語に関する考え方が変わりました。日本語は一つの難しい科目だと思っていましたが、今では、近づき、達成することができるものなのだと思うようになりました。以前よりももっと日本の文化や日本語のことが好きになりました。機会があれば、将来日本語を使う仕事をしたいと思っています。